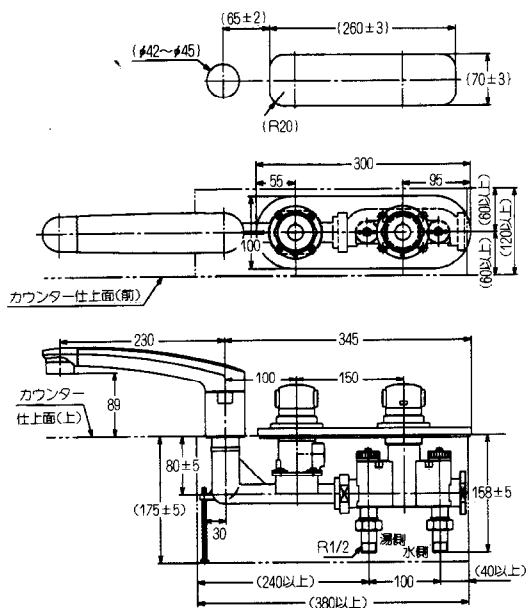
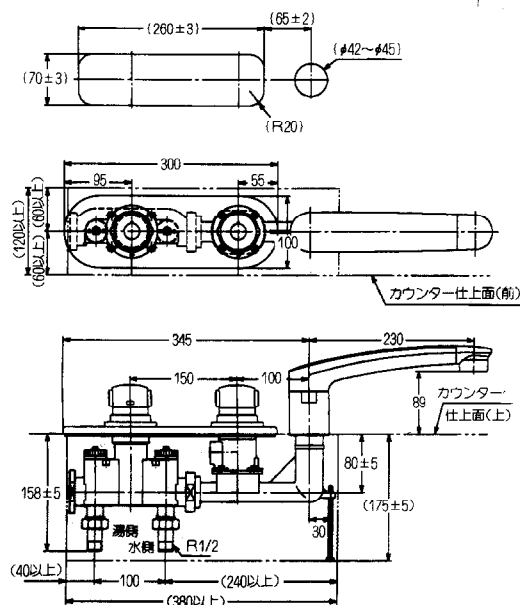
INAX

定量止水付 サーモスタットバス水栓

BF-1195TL BF-1195TR
BF-8195TL BF-8195TR

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図

BF-1195TL
BF-8195TL

BF-1195TR
BF-8195TR

※( )内寸法は取付け施工に必要なスペースの寸法です。
※{ }内寸法はカウンターを石材で仕上げる場合の穴あけ寸法です。(カウンター厚み 30mm以下)

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注 意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

●使用条件

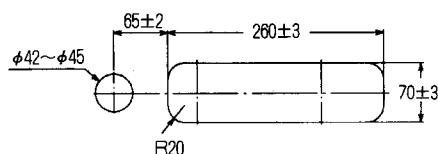
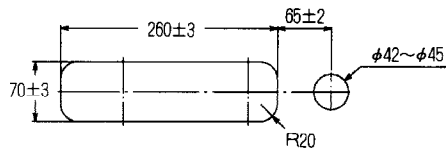
●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要圧力……右表参照
最高圧力………0.59MPa{6kgf/㎠}
Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

16号	A+0.08MPa{0.8kgf/㎠}
20号	A+0.07MPa{0.7kgf/㎠}
24号	A+0.07MPa{0.7kgf/㎠}
32号	A+0.05MPa{0.5kgf/㎠}

測定条件
※定量止水ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
最高圧力…………0.59MPa{6kgf/㎠}
●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力は給湯圧力より高圧か、または同圧となるようにしてください。
●給水圧力が0.59MPa{6kgf/㎠}を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.20~0.39MPa{2~4kgf/㎠}程度)に減圧してください。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●給湯に蒸気は使用できません。
●ガス給湯器を使用の場合、最低作動流量(4L/分)を下回る流量で使用すると自動止水しない場合がありますので、次の点に注意してください。
・10号以上のガス給湯器と組み合わせる。
・能力切替付のガス給湯器では4L/分以上の流量が確保できるよう能力調節をする。
※4L/分は目安として普通の洗面器を30秒程度で一杯にできる流量です。
●流量は30L/分以下としてください。
※計量精度を保証できません。

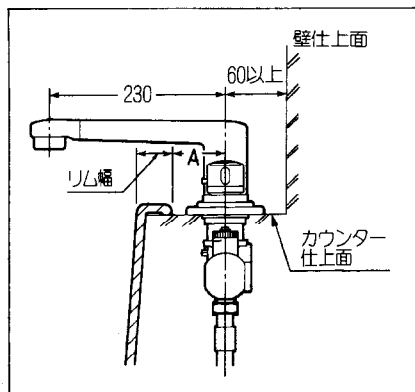
●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●水道工事と浴槽取付工事は、十分に工程を打ち合わせのうえ行ってください。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。
●カウンターを石材で仕上げる場合、石材の穴あけ寸法は、下記のようにしてください。

●施工方法

以下の手順で水栓を取り付けてください。

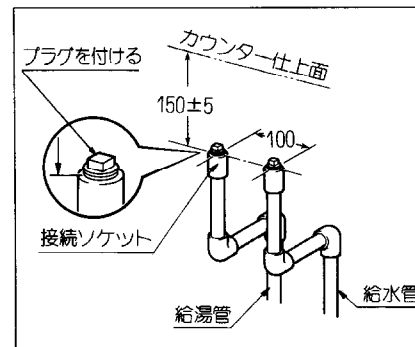
1. 取付位置の決定

A寸法は浴槽のリム幅によって異なりますので下表を参考にしてください。

浴　槽	リム幅	A寸法
GBH-1400 AB-1400	70	60~130
GBH-1500 AB-1200	75	60~125

2. 給水・給湯配管

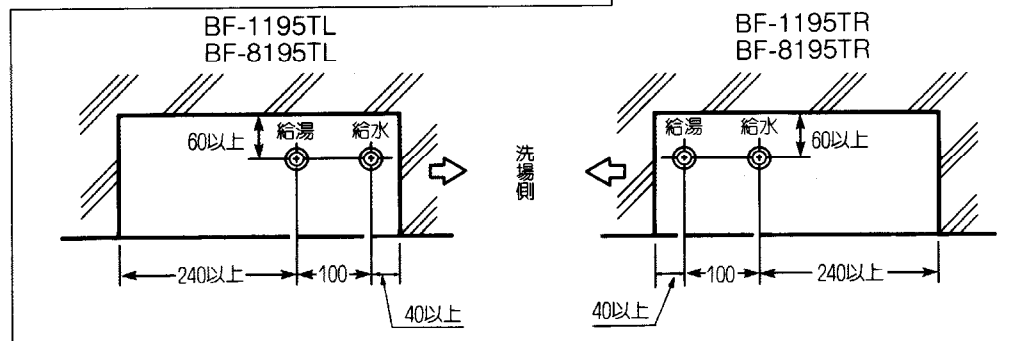
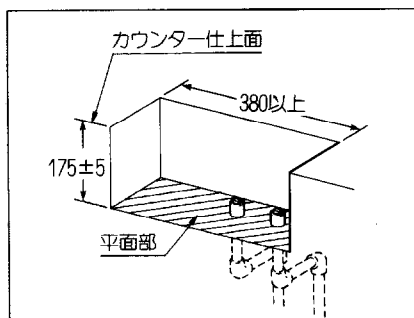
接続ソケット上端とカウンター仕上面までの寸法が150±5mmになるように施工します。

株式会社INAX

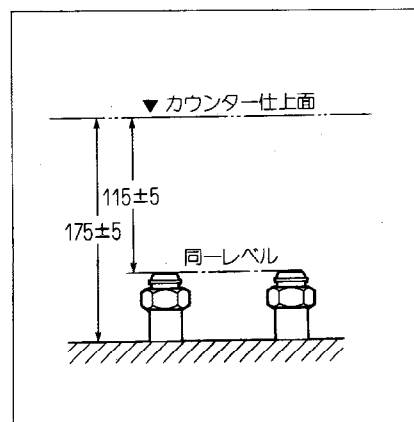
本社 ☎0569-35-2700 / 札幌支社 ☎011-271-1701 / 東北支社 ☎022-301-1701 / 東京支社 ☎03-5541-7111 / 西東京支社 ☎0425-27-3341
横浜支社 ☎045-242-1710 / 千葉支社 ☎043-227-8171 / 埼玉支社 ☎048-668-1177 / 東関東支社 ☎028-637-3379 / 関越支社 ☎0273-27-1793
甲信支社 ☎0263-36-2166 / 名古屋支社 ☎052-201-1717 / 静岡支社 ☎054-251-1710 / 北陸支社 ☎0762-64-1710 / 大阪支社 ☎ 06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794 / 広島支社 ☎082-223-1710 / 四国支社 ☎0878-21-1701 / 福岡支社 ☎092-282-3151 / 南九州支社 ☎096-322-1794

カウンター仕上面より175±5㎜の位置に水栓取付用の平面部を設け、水栓取付けのために必要なスペースを確保します。

BF-1195TL
BF-8195TL

BF-1195TR
BF-8195TR

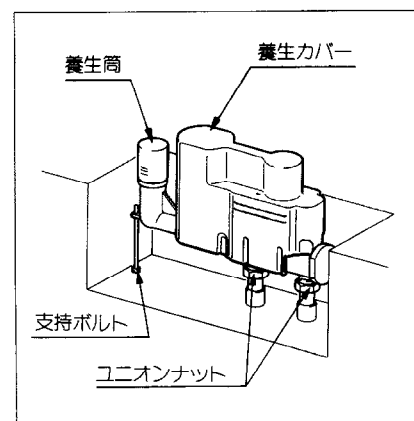
60以上 給湯 給水 60以上
洗場側
240以上 100 40以上

3. ユニオンの取付け

プラグを取り外し、同梱のユニオンをカウンター仕上面までの寸法が115±5㎜になるように取り付けます。

※湯側、水側ユニオンの取付高さは同一レベルにしてください。

4. 水栓本体の取付け

ユニオンナットで水栓本体を給水・給湯配管に接続します。

※支持ボルトを利用して水平になるように調節してください。

養生筒
養生カバー
支持ボルト
ユニオンナット

5. 漏水の有無の確認

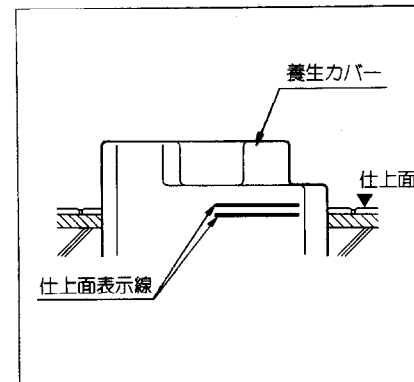
埋込配管部に通水して、水漏れの無いことを確認します。

6. カウンター仕上げ

養生カバーを付けたまま、埋戻しとカウンター仕上げをします。

※カウンター仕上げは養生カバーに表示してある仕上げ範囲内に収まるようにしてください。

※養生カバーの内側にモルタル等が入り込まないように注意してください。

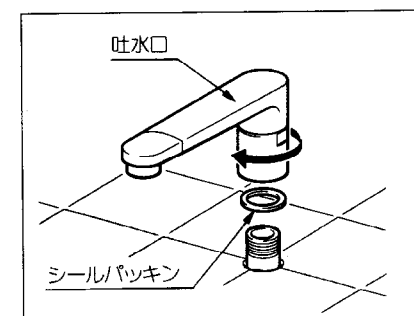
※カウンターを石材で仕上げる場合は、「施工前のご注意」で石材の穴あけ寸法を確認してください。

7. 養生カバーの取外し

取付ビス(2本)を外し、養生カバーをゆすりながら外します。

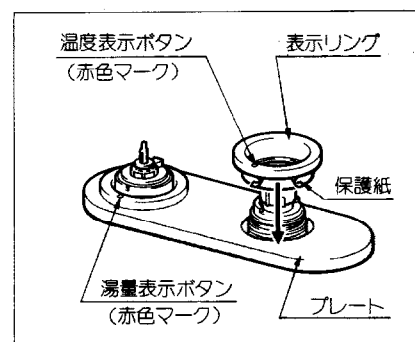
吐水口取付部の養生筒はそのまま引き抜きます。

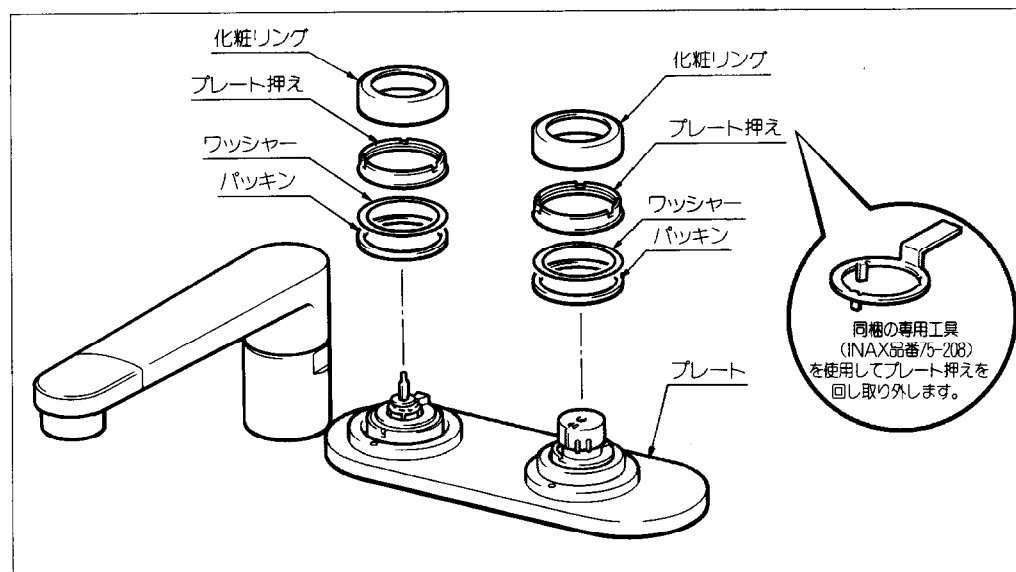
8. 吐水口の取付け

目地のくぼみから水が入り込まないようにメジシールを塗布して吐水口を取り付けます。

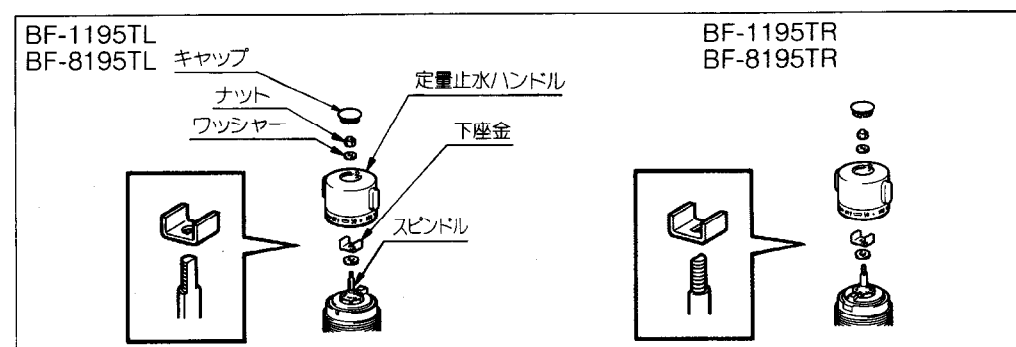
※はみ出したメジシールはよくふきとってください。

9. プレートの取付け

(1)あらかじめ取り付けてある定量止水ハンドルを外します。

プレートを水栓に合わせ、表示リング裏面の保護紙をはがし、湯量表示ボタン（赤色マーク）と温度表示ボタン（赤色マーク）が正面となるようにプレートに張り付けます。

(2)パッキン、ワッシャーを付けて、同梱の専用工具でプレート押えを締め付け、化粧リングを取り付けます。

※専用工具は取付後もストレーナーの掃除等でプレートを取り外すときに使用しますので、必ずお客さまにお渡しください。

10. 定量止水ハンドルの取付け

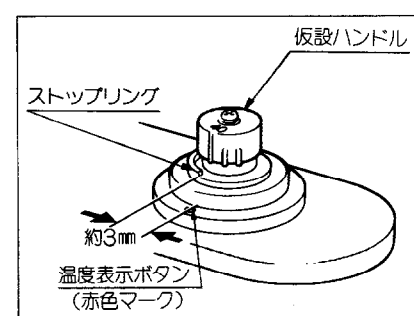
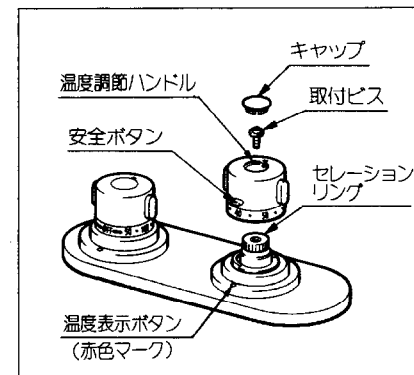
定量止水ハンドルは、下図に従い取り付けます。

※下座金とスピンドルの位置関係は、LタイプとRタイプとでは異なりますので注意してください。

11. 温度調節ハンドルの取付け

あらかじめ水栓についているハンドルは、出荷調節時の仮設ハンドルです。
次の要領で正規のハンドルに付け替えてください。

(1)同梱のストップリングが右図の位置にあることを確認します。

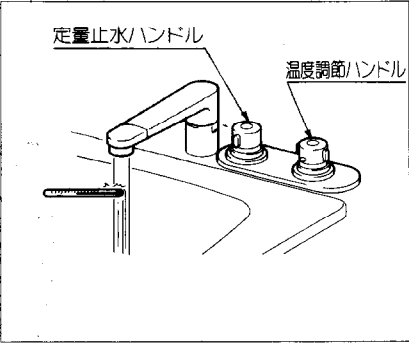
※位置がズレていると温度調節ができなくなります。

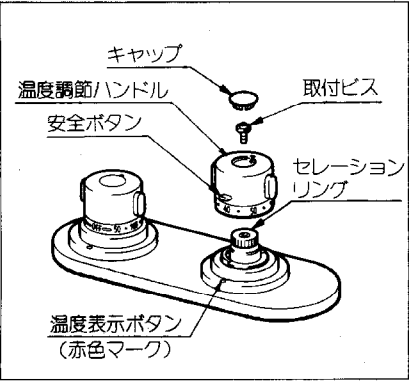
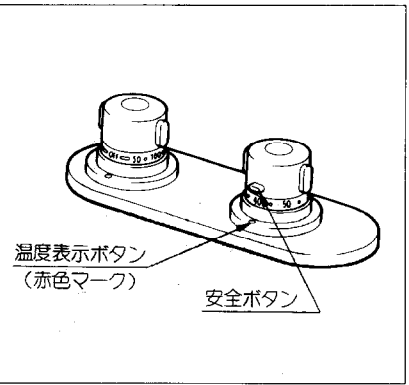
(2)仮設ハンドル上面の「40」を温度表示ボタン(赤色マーク)に合わせて取り付けます。

(3)温度調節ハンドルの「40」を温度表示ボタン(赤色マーク)に合わせて取り付けます。

●施工後の調節

●温度調節

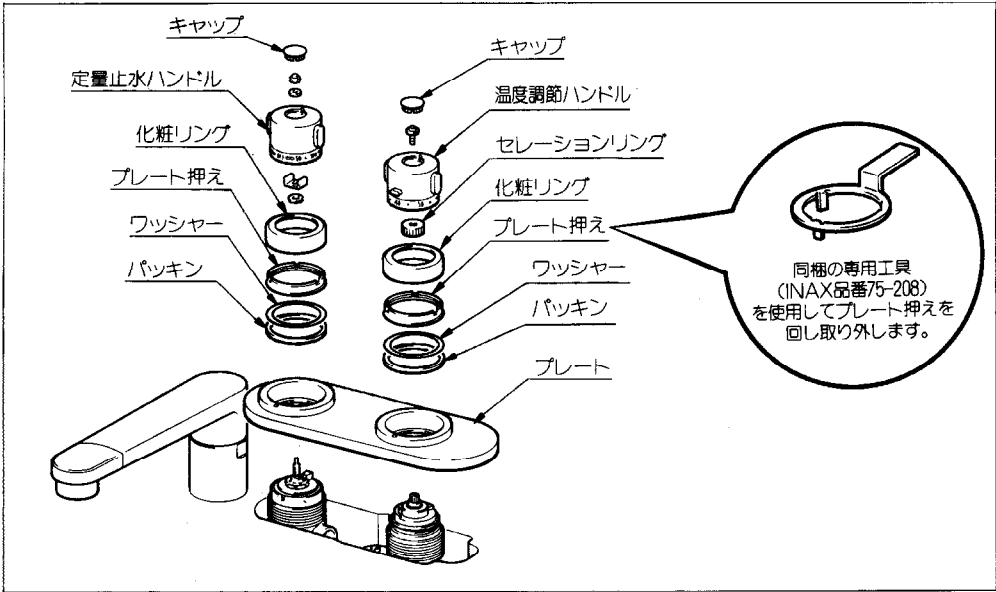
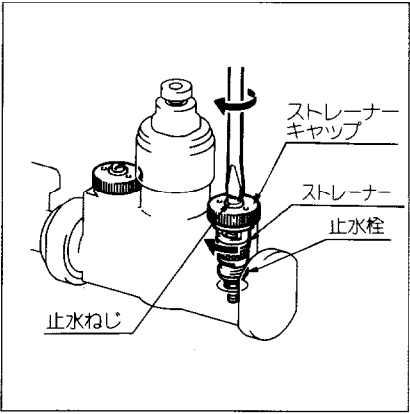
温度調節ハンドルの温度目盛と吐出温度が合わない場合は、次の要領で調節してください。

1．調節の前に次のことを確認します。
(1)湯側と水側の止水栓は十分開いていますか?
(2)湯側と水側のストレーナーは詰まっていませんか?(「ストレーナーの掃除」の項を参照)
(3)使用する温度より10℃以上高い温度のお湯がきていますか?

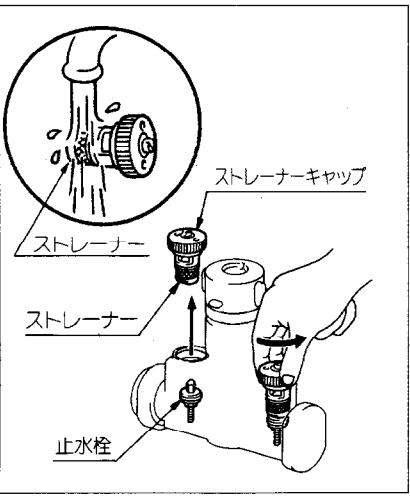
2．定量止水ハンドルを「ON」側で全開にします。
※このときの吐出温度が40℃であることを確認します。

3．吐出温度がずれている場合は、目盛に関係なく40℃になるよう温度調節ハンドルを回します。

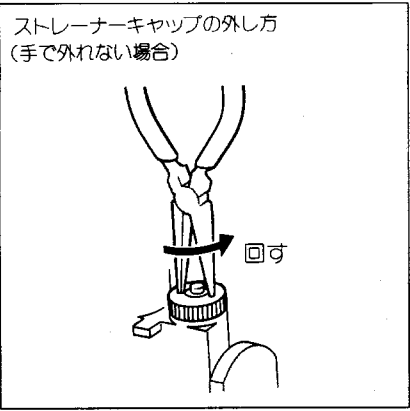
4．(1)吐出温度が40℃になったところで吐出を止めます。
(2)温度調節ハンドルを回転しないように取り外します。

(3)温度表示ボタン(赤色マーク)に温度目盛の「40」を合わせてはめ直します。
※このとき安全ボタンの働きで、「40」で温度調節ハンドルが止まることを確認してください。
(4)取付ビスを締め、キャップを取り付けます。

●ストレーナーの掃除

ストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。
水栓取付後は必ず次の要領でストレーナーを掃除してください。

1．定量止水ハンドル、温度調節ハンドル、プレートを取り外します。

2．(1)湯側、水側の止水ねじを右（時計回り）いっぱいに回し、止水栓を閉じます。
(2)定量止水ハンドルを仮付けし、「ON」が正面にくるように合わせ圧抜きをします。

3．温度調節ハンドルを元の位置に仮付けし、温度調節ハンドルを左右いっぱいに回して水が出ないことを確認します。

4．定量止水ハンドルを必ず「OFF」が正面にくる位置に戻します。

5．(1)温度調節ハンドルを右(時計回り)いっぱいに回し、右側(水側)のストレーナーキャップを左に回して外します。
(2)ストレーナーに付いたゴミを洗い流した後、元の位置に取り付けます。
(3)温度調節ハンドルを左に回し、左側(湯側)のストレーナーを同様に掃除します。

6．(1)湯側、水側の止水ねじを左に回し止水栓をいっぱいに開きます。
(2)定量止水ハンドルと温度調節ハンドルを取り外します。

7．定量止水ハンドル、温度調節ハンドル、プレートを取り付けます。

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は次の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は右図を参照してください。

現　　象	点　検　内　容	点検箇所	処　　置
流量が少ない	圧力は十分か?		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか?		抵抗となる障害物を取り除く。
	ストレーナーのゴミ詰まりはないか?	①(湯側と水側)⑤	ゴミ等を水で洗い流す。
	止水栓は全開か?	②(湯側と水側)	止水栓を全開にする。
	整流口の整流網のゴミ詰まりはないか?	⑧	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか?	⑥、⑨	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか?	⑥、⑨	キズがあれば部品を交換する。
自動止水が働かない	ハンドル回転を妨げてないか?	⑦	障害物を取り除く。
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か? (ゴミ、砂かみは?) (パッキン、シートにキズは?)	①(湯側と水側)	ゴミ等は水で洗い流す。 キズは部品を交換する。
希望の温度が得られない	湯、水は水栓まできているか?		元栓を確認する。
	ストレーナーのゴミ詰まりはないか?	①(湯側と水側)	ゴミ等を水で洗い流す。
	止水栓は全開か?	②(湯側と水側)	止水栓を全開にする。
	温度調節は良いか?	③	「温度調節」の項参照。
	温調カートリッジは働いているか?	④	「機能検査」の項参照。

●機能検査

手順

1. 定量止水ハンドル⑦を「ON」の位置に合わせる。
2. 温度調節ハンドル③を「40」に合わせる。
3. 水側止水栓②のみを閉める。
   ※このとき吐出がほとんど停止すれば機能は正常。
   ※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。
4. 湯側止水栓②のみを閉める。
   ※このとき吐出がほとんど停止すれば機能は正常。
   ※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。